

編集後記

第10号には7名の先生方から投稿がございました。中には本学の大学院経営学研究科博士課程の1名が含まれています。

本年度は次のことを徹底しました。

(1) 査読を取り入れたこと、

もちろん今回が初めてではありません。いままでも何かと査読は行われていました。しかしこれを一つの制度として学科内ではありますが投稿者の論文内容・専攻に最も近いと考えられる人に査読をお願いすることにしました。必要な場合は2回行うことにしています。

(2) 受付日と受理日を入れることにしたこと、

論文の投稿はすべての資格関係者に広く発表する機会を提供されることが大切です。これに対応して受付日と受理日を記載することによって査読付きの論文であることを示す必要があります。しかしこれにも問題がないわけではありません。つまり身内の査読というとやはり限界もあります。といって外部に求めるとなると時間と費用の問題が起こります。この点が今後の課題です。

(3) 最後に若い先生方の投稿が少ないのが残念です。

学会に投稿する前に、まず研究紀要で試してみてください。若い先生方に一層の奮起を期待いたします (筆：岡本)。

2012年3月31日

『目白大学経営学研究』執筆・編集要項

1. 『目白大学経営学研究』の編集は、編集委員会が行う。
2. 投稿資格等は、「目白大学研究紀要出版規程」に従う。
3. 論文の内容は、本学の「学術研究倫理憲章」を遵守し、本分野の観点・視点を有するものとする。
4. 投稿希望者は、所定の登録申請書を期限までに提出するものとする。採否は編集委員会が決定し、本人に通知する。
5. 論文の形式等は、次に掲げる各分野共通の執筆要領に従うものとする。ただし、編集委員会で特に定める項目がある場合は、別途指示する。
 - (1) 使用言語は、原則として和文または欧文とする。ただし、編集委員会の承認がある場合は、この限りではない。
 - (2) 図表・写真等の使用は任意とする。ただし、本文の枚数として算入する。
 - (3) 日本語と英語のキーワードを3～5語の範囲で付すものとする。
 - (4) 英文の要約を付すものとする。
6. 原稿は編集委員会が指定する部数を提出する。うち、審査用原稿は執筆者名を伏せたものとする。
7. 投稿論文の採択可否については、編集委員会が委嘱した審査員の審査結果報告に基づき、編集委員会が決定する。
8. 執筆者による校正は再校までとする。校正段階の加筆修正は認めない。

目白大学経営学研究編集委員

編集委員長 岡本 英嗣 (経営学部経営学科教授)
寺崎 克志 (経営学部経営学科教授)
近藤 弘毅 (経営学部経営学科専任講師)
伴 正隆 (経営学部経営学科専任講師)
大野 友子 (経営学部経営学科助手)

平成24年3月30日 発行

編集 目白大学経営学研究編集委員会
代表者 岡本 英嗣
発行 目白大学
代表者(学長) 佐藤 弘毅
(〒161-8539) 東京都新宿区中落合4-31-1
電話 03 (5996) 3140
印刷所 株式会社 デイグ
東京都中央区湊 2-8-7
電話 03 (3551) 3060 (代)